

SHIRO TORI 通信

Vo.25

2019 autumn

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは

好きな時間に好きな場所で

地域での新しい

働き方を目指して

「ローカルライフ」さん

城取設計ニュース

オススメ！この一冊

建築ニュース

建築探訪

建築設計の仕事

実録！地元のチカラ この街の企業

cafetias

営業コラム





建築 NEWS

建設現場で厚さしのぐ“扇風機付き服”普及

沖縄県の観光名所である首里城（那覇市）で、2019年10月31日に大規模な火災が発生しました。首里城公園管理センターによると、燃えた建物は正殿、北殿、南殿・番所、書院・鎖之間、黄金御殿、二階御殿、奥書院の7棟で、消防庁災害対策室によると、正殿を含む北殿、南殿・番所が全焼したとい

います。首里城は、中国由来の宮殿建築と日本の木造技術を巧みに取り入れた建築様式に沖縄の歩みが集約されているとし、沖縄県民にとって歴史やアイデンティティーを確認する場でしたが、太平洋戦争の沖縄戦で焼失。沖縄空手や伝統芸能など無形文化財が徐々に復興を

遂げる中、有形文化財の多くは戦争で失われたままの状態でした。戦争で多くの資料が失われましたが、宮内庁書陵部や米公文書館などの文献を調べ上げ、沖縄の本土復帰20年を記念して1992年に正殿や北殿が復元されました。

中国的な色彩と日本建築のデザインを融合させた建物に、琉球王朝の文化や特徴が集約されていたといっています。

沖縄県の玉城知事は、約4200m²が焼損した首里城の早期再建に向け行政の担当者や専門家が参加する「県民会議」を発足させると共に、県庁内に知事直轄の「首里城復興戦略チーム」を設置することを発表しました。



左は火災で正殿などが焼失した首里城 右は2012年10月の様子



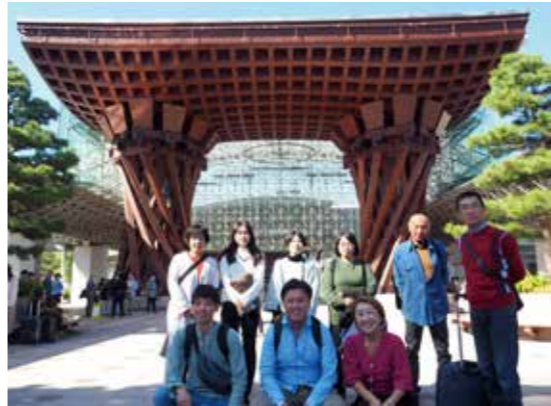
城取設計 ニュース

社員旅行の報告



弊社では、10月28・29日金沢市へ社員旅行に行ってきました。前回の城取通信では福岡&長崎コースを断念した様子をお伝えしましたが、最終的には金沢コースに決定。しかし、台風19号による大雨で深刻な浸水被害によって、北陸新幹線の運転見合わせなど心配な事態になりましたが、出発することができました。

金沢駅に降り立つと平日とは思えない人の多さにびっくり！さっそく、歩いて金沢21世紀美術館へ向かい現代アートに振れ感性を磨きました。その後2日間かけ、兼六園・金沢城・鈴木大拙館・ひがし茶屋街・近江町市場等社員それぞれに過ごしました。金沢は金沢駅周辺に見所がたくさんあり、周遊バスも充実していて観光客に優しい町だと感じました。夜は、地元の郷土料理（新鮮な



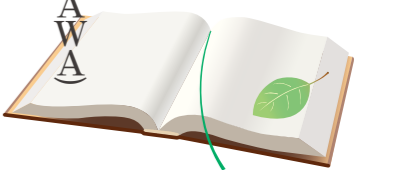
お刺身と金沢おでんが最高でした！と美味しいお酒に舌鼓を打ちリラックスした雰囲気の中話しながら盛り上がりました。日頃の疲れが癒されるだけでなく、社員同士の絆がより一層深まる良い旅行になりました。旅行疲れが心配でしたが、社員一同、仕事モードに切り替え頑張っていました。

おすすめ

この一冊

「人生の勝率」の高め方

土井英司 (KADOKAWA)



英語力や教養よりも大切なスキル
成功を約束する「選択する力」のレッスン

今回は、元アマゾンカリスババ イヤー、現在は書評メルマガ『ビジネスブックマラソン』編集長・土井英司氏が、現代を「生きる力」「稼ぐ力」「夢をかなえる力」を手に入れるアンテナの張り方を指南する一冊を紹介いたします。そんな著者が本書で語ることは「目利き力」です。つまり、物事は頑張ることよりも、どこで頑張るか、つまり選択が一番重要だということです。そして「良い選択をするにはどうすれば良いか」について詳しく説明されています。「イケてないときは、自分の意思で選択しない」「やるやらないをルールに決める」



土井英司 著
定価：本体1,400円＋税
発売日：2019年9月13日
形態：単行本（280ページ）

建築探訪

金沢21世紀美術館

先日弊社の社員旅行で石川県金沢市に行ってきました。その金沢の中心部にある金沢21世紀美術館は地方都市の公共美術館でありながら、年間約二百五十万人が訪れる一大観光スポットになっています。

建物は、妹島和世+西沢立衛（SANAA）の設計によるもの。コンセプトは、「まちに開かれた公園のような美術館」直径113mの円形建築で、全方向に入り口があり「表と裏」という概念はありません。周囲は開放的なガラス張り、屋内にいても空や緑など、外の風情が楽しめます。展示室はそれぞれに広さや天井高が異なり、展示作品は1980年以降に制作された作品が多くを占めています。人気なのはレアンドロ・エルリッヒ作の「スイミング・プール」で、水面を挟んでの来館者同士の触れ合いが楽しめるでしょう。



特集

施工事例

創業56年を迎えた城取建築設計事務所が手がけた設計作品を紹介します

歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考え
過去から未来へつなぐ施設を作ります。

施工事例

ゾーン分けされた 各階の 連携が取れる 機能的な空間

建築概要

名称：エス・イー・エム
新工場
発注者：(株)エス・イー・エム
所在地：長野県諏訪市中洲
構造・階数：S造・2屋
延床面積：1,976.53 m²

外観デザインにおいては、株式会社エス・イー・エム様のコーポレートカラーであるセルリアンブルーのサインと呼応するように、カーテンウォール越しに見える構造体にCIカラーの塗装を施したファサードが来訪者を出迎え、水平と垂直で構成されたフォルムとメタルの外壁は、ハイレベルでメカニカルな印象を感じられる建物となる

よう計画しました。また色彩計画において、来訪者を迎える南側は白色をベースに「清潔感」を、資材搬入や出荷口となる北側はダークグレーでまとめ「緻密で落ち着いた印象」の2つの表情をもつ建物としました。内部においても、コーポレートカラーをアクセントカラーとして採用し、インテリアのリズムと統一感を設けています。

日本のシリコンバレーともいえる諏訪市、その物流の中心地である諏訪インターチェンジ北側に、新工場の敷地は位置します。株式会社エス・イー・エム様は、精密技術・光学技術とエレクトロニクス技術が結びついたオプトメカトロニクス分野において、半導体・コンピュータ関連機器・産業用ロボット・省力化機器等の開発から製作、設置まで一貫して行う企業です。この度、新工場建設の設計・監理をさせていただくにあたって、お施主様とお話をさせていただくうちに、本施設は「工場」というより、『研究施設』である印象をうけ、プランニングを進めていきました。

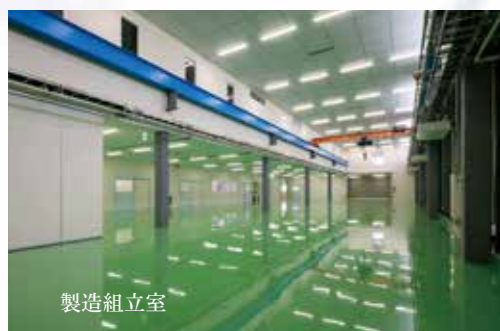
ゾーニングは、設計・開発を行う「開発部門」と、部品調達・製造組立を行う「製造部門」の2つのゾーンからなり、各階（2階建）にそれぞれのゾーンを振り分ける計画としました。

1階部分に配置した製造ゾーンの大部分を占める機械組立室は、スペースの半分を2層吹抜けの大空間として移動式クレーンを設置し、長尺の製品や大型・小型製品の組立など、異なるオーダーメイド製品を同時に作業できるように計画してあります。2階部分には

株式会社エス・イー・エム様の頭脳である設計室を中心に、5つの会議室や総務部門等諸室を配置しています。会議室などからは、1階から吹抜ける組立室に面した窓より、取引先様との打合せ時や、2階で執務を行う従業員の方々からも、工場の様子がかい知ることができるようになっています。この各階にある2つのゾーンを、吹抜けの玄関ホールでつないでいます。この玄関ホールには、カーテンウォールからの自然光が差込み、軽やかな階段とともに開放的で、来訪者を出迎える新工場の顔となっています。



北側外観



製造組立室



南側外観



cafe ties
FRUITFUL TIMES

カフェタイズ
伊那市西町 5863-1
www.cafeties.com

営業時間
月～金 11:00～18:00
土・日曜 10:00～18:00

“これぞパンです” オープン!!

遂に11/24(日)高級食パン専門店「これぞパンです This is a Pan!!」が南箕輪村にオープンしました。

定番商品のプレーンとレーズンを使った食パンは、国産りんご蜂蜜を使い、フルーティな味わいとなっていて毎日食べても飽きのこない味となっています。

12月に入ったら、食パンを使っのサンドウィッチプレートやフレンチトーストも店内で食べれますのでご利用くださいね。



地元のチカラ この街の企業

実録

今回は、働き方の多様化が進むなか、ローカルだからこそできる働き方を目指し、代表の松澤さんが昨年9月に箕輪町で立ち上げた「ローカルライフ」を紹介しします。

「自分の好きな時に、好きなだけ働きたい」「子育てしながらスキルを身に付けたい」。そんなニーズに応える新しい働き方「パ



ソコンを使ったアウトソーシングを中心に仕事の受託からスキルアップのサポートまでを行っています。

現在、子育て世代のママを中心に50名ほどが会社に登録。チームだからこそ、一人ではできない仕事量やスキルが高めの仕事なども協力して行います。子育て世代も多く、子どもが病気の時などはサポートしあう環境や関係性が生まれています。また、会社の中にディレクターを配置しており、仕事先との窓口や業務調整を行うので、業務の部分に集中して時間を使うことができることもメンバーには喜ばれています。

業務内容は、アンケート集計、ブログ更新、テープ起こし、専用ソフトを使ったデータ作成、イベント運営、商品開発など多岐に渡

好きな時間に好きな場所で 地域での新しい働き方を目指して

(株)ローカルライフ
(箕輪町)



り、周辺地域のほか首都圏や関西方面の仕事も受託。ワーカーさんたちの様々なスキルを掛け合わせることで、チームとして多様な仕事を網羅でき、その可能性は今も広がり続けています。

箕輪町と大手クラウドソーシング運営会社である株式会社クラウドワークスが連携し、幅広いサポートを総合的に受けられることもローカルライフの強み。「新しい働き方を目指したい」「復職の手掛かりにしたい」「ライフワークバランスを整えたい」。思いは人それぞれだからこそ、これからは色々な仕事に挑戦していきたいと松澤さんは言います。今後の活動に、ぜひご注目ください。

代表の紹介

松澤清和氏



株式会社 ローカルライフ
長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪
10286・1 産業支援センターみのわ
http://locallife.co.jp

ローカルなライフを楽しむ!

伊那市出身の松澤さん。株式会社ワイドで企画調査部 部長としてまちづくりを担当する一方、ローカルライフ代表という顔を持ち、自らが地域での新しい働き方を体現しています。『働く』を楽しみ『暮らし』を楽しみ『田舎』を楽しむをモットーに、少しでも地域を元気にしていきたいと話してくれました。

営業コラム



10月20日に開幕してから約40日間、日本中を興奮させたラグビーワールドカップ皆さんの反応はいかがでしょうか。

実は私、学生時代ラグビーをやっていた熱血なラグーマンということもあり、この期間中テレビにかじりついて観戦していました。テレビ観戦だけではとどまらず、運よくチケットゲットできた開幕戦日本×ロシア、準決勝南アフリカ×ウェールズを現地で見戦し、とても貴重な経験をしてきました。

待ち続けてきた「一生に一度」の体験。試合に行く前から高ぶる気持ちを抑えるようにしてスタジアムに向かい、会場近くのパブで他国のファンとビールを飲みながらエールの交換、試合前は各国の歌声がスタジアムに響きわたり、試合中も自然発生で応援の歌声や

声援が聞こえてきて、スタジアム観戦の醍醐味を感じ取れる空間だったと思います。

大成功に終わった日本大会がチームに終わらず、ラグビー人気を拡大していくことを期待しています!!



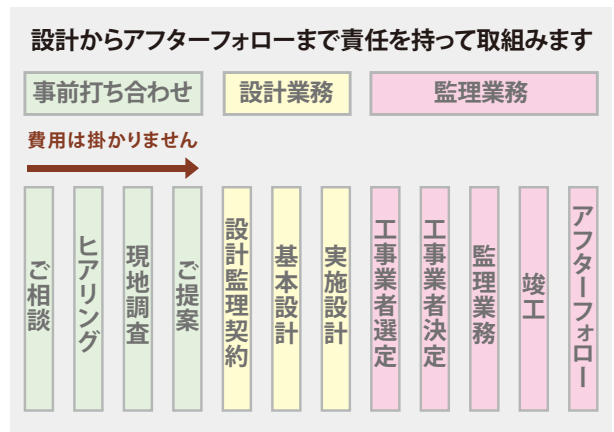
時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。
 私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、
 そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つものであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。



株式会社 城取建築設計事務所

- 創 立：1963年4月1日
- 代表取締役：城取健太
- 資 本 金：1000万円
- 登 録：（伊那）L第2Y051号
- 取 引 銀 行：八十二銀行 伊那支店
アルプス中央信用金庫 本店
- 所 属 団 体：（社）長野県建築士事務所協会
（社）長野県建築士会

- 事業内容
 - ・ 建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
 - ・ 医療福祉施設に関する企画・設計・監理
 - ・ 商業施設に関する企画・設計・監理
 - ・ 環境・地域計画に関する計画・設計・監理
 - ・ 建物構造調査・診断・設計・監理
 - ・ 既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

■ 本社
 長野県伊那市西町 5863-1
 TEL：0265-72-7271
 FAX：0265-72-7270

